

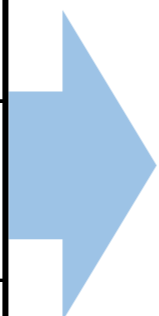
2020年度 ガイドライン評価改善シート

施設名 (ドリームケアふいる とくら園) 作成日時 (令和2年10月23日)

代表	施設長	本部
風間		田中

2019年度 改善への取り組み	・衛生管理、安全対策の徹底 ・事業所全体で統一した支援に取り組む ・保護者との連携を深める
今年度の施設目標	・緊急時対応の保護者、職員への周知をマニュアル化する ・保護者に伝わるクラス便りの作成 ・職員研修、ミーティングを充実させ、支援の質を高める

項目	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での共通点	保護者評価、事業所内評価を踏まえた上での相違点
環境・体制整備	・子どもの活動スペースが十分ではない ・園庭がないが、近隣の公園や保育所に出かけている	・登園時に送迎に出ているスタッフがいるため、人員が手薄になっているとの評価があり、登園時の受け入れについて不安の声がある。 ・生活空間をTEACCHの物理的構造化を基に設定しているが、保護者に周知できていない。
業務改善	・スタッフミーティングの際には、目標の確認、目標達成のために必要なこと、今できていること、できていないこと、今後、取り組んでいくことを明確にしている。	・ミーティングに参加できていない職員に対しての情報共有の在り方を見直す。
適切な支援の提供	・子どもや保護者のニーズや課題を分析し、児童発達支援個別支援計画を作成している。 ・児童発達支援計画には、具体的な支援内容が設定され、支援計画に沿った支援が行っている。	・支援計画に基づき、職員間でやり取りが行われていない。 ・よこはま発達クリニック 佐々木先生のコンサルテーションを毎月1回受けているが、内容について全職員が理解しているとは言えない。
関係機関や保護者との連携	・クラス便りの発行ができていない。 ・新型コロナウイルス感染防止の観点から、参観会が中止となり、保護者同士のかかわりが持てていない。 ・幼稚園・保育園への移行の際、関係機関と情報共有できている。	・支援計画に基づく支援が施設内にとどまっていることが多く、家庭でできる手立てを伝えきれていない。 ・クラス便りは、保護者が知りたい内容を掲載するためにアンケートを実施。保護者のニーズに沿った紙面にして発行する。
保護者への説明責任等	・運営規定や重要事項説明書等の説明を行っている。 ・保護者会の開催ができていない ・保護者からの相談には随時面談を行っている。 ・施設運営において、前年度と異なる点を周知できていない。	・近隣の保育所に出かけ、保育所の子どもたちとやり取りする機会があるが、保護者に周知できていない。 ・保護者会の開催を検討しているが、詳細は未定。今年度中の開催を目指し、計画する。
非常時等の対応	・連絡帳や持ち物の入れ間違いがある。 ・11月に通報訓練、保護者引き渡し訓練を予定している。	・緊急時対応マニュアルを配布したが、周知、説明がされていない。



分析検討してみたの事業所の強み	分析検討してみたの事業所の改善点
<ul style="list-style-type: none"> ・「個別化」を意識した支援を行っている。 ・コンサルテーションで定期的に学ぶ機会がある。 ・関係する市町の行政担当課、幼稚園、保育園、児童発達支援事業所、連携、情報共有ができています。 ・自立支援協議会の子育て部会に参加し、顔の見える連携ができています。 ・協力的な保護者が多く、また職員も意欲的である。 ・家庭でできる支援の手立てに取り組む、報告をしてくださる保護者がいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「個別化」を意識した支援内容を保護者に伝える ・保護者ニーズに沿った「家族支援」を提案し、家庭でできる具体的な手立てを伝える。 ・施設運営をどう伝えるか ・職員の専門性、支援の質を高める、研修内容について情報共有と理解を深める。 ・クラス便りの在り方 ・保護者会の開催 ・個人面談の際に、緊急時マニュアルを説明する時間を設ける。

事業所の改善への取り組み
<ul style="list-style-type: none"> ・「個別化」→個人面談や、登園、降園時のやり取りの中で、なぜその支援方法なのかを保護者に伝える。個人面談の際には、実際の支援の手立てを見ていただき、根拠を伝える。 ・家族支援→施設内のできる支援の手立てとは別に、家庭でできる現実的な、具体的な手立てを提案する。やってみてどうだったかもうかがい、次の方法を提案していく。 ・施設運営をどう伝えるか→年間予定表だけでなく、その行事が近づいたときに、その内容がわかるお便りの配布、メールの配信を行う。また、不明点を聞きやすい関係づくりも心がける。 ・職員の質の向上→コンサルテーションの内容をまとめたものを閲覧するとともに、参加した職員は参加していない職員に内容を伝え、実践する。何が課題なのかを明確にしてコンサルテーションに臨む。 ・クラス便り→アンケート集約後、保護者のニーズに合った内容のお便りを作成し、発行する。 ・保護者会→新型コロナウイルス感染防止に努め、保護者会を開催する。場所、時間、開催頻度等を決め、保護者に周知し、今年度中に開催する。

自己評価を行っての事業所としての感想など
<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度、課題にしていた職員のミーティングは、今できていること、できていないこと、今後どうしていくか、を明確にして話し合う場になることができました。コンサルテーションについても同様で、これから何をすればいいかを明確にすることができました。取り組むだけでなく、振り返り、「これからどうするか」を考えることが重要であることに改めて気づかされた。 ・「家でやってみたら、うまくいった」と家庭での手立ての結果を報告してくださる保護者がいる。「個別化」を理解していただくためにも、今後もニーズに沿った家庭でできる手立てを提案していきたい。

来年度の施設目標	・「個別化」を意識した支援の徹底 ・ニーズに合わせたお便りの作成、発行 ・保護者会の定期的開催
----------	---